

予算特別委員会の質疑(要旨)

A委員(自民) 龍ヶ崎市、藤代町、伊奈町にかけての県南広域道路についての取り組み状況と今後の見通しはどうか。(仮称)

第二栄橋については、予定を早めて平成一七年秋までの開通を要望する。
土木部長 県南広域道路については、これまで関係市町に複数のルート案を提示してきたが未だ合意に至っていない。県としては、引き続き地元三市町に働きかけて、早期のルート決定に向けた調整を進めたい。

(ほかに、取手競輪場の運営なども質問)
B委員(自民) 一二月のいばらき教育月間においては県民一丸となった取り組みが、過日、快速列車の運行計画などが関東鉄道から提案された。莫大な金額が必要になるが、県のバックアップについて伺う。
知事 県行政の一翼を担う県職員には、教育月間行事への積極的な参加はもとより、職員自ら地域活動などに率先して取り組むよう促していく。また、家族との会話や子どもとふれあう機会を持つとともに、地域活動に関わるよう、定時退庁日の徹底に努めたい。

(ほかに、国際化への対応なども質問)
C委員(自民) 活性化が課題とされる常総線であるが、過日、快速列車の運行計画などが関東鉄道から提案された。莫大な金額が必要になるが、県のバックアップについて伺う。
企画部長 計画を実現するためには、事業者と地元市町村が一体となった取り組みが必要であり、その状況に応じて必要な支援に取り組む。事業費については、国の支援が不可欠であり、必要な予算が確保されるよう積極的に働きかける。(ほかに、農業問題なども質問)

県南広域道路の整備、常総線の活性化、図書館ネットワークの推進、住基カードの普及など質疑

D委員(自民) アテナオリンピックで金メダルを獲得した鈴木、塚田両選手に県民栄誉賞が授与されたが、北京での金メダルも期待されることから、それにも応えられる新たな表彰制度を創設してはどうか。
知事 県民栄誉賞は最高の賞であるので、新たな賞の創設ではなく、知事特別表彰に併せ副賞、現金を渡す。

E委員(公明) 県立図書館では市町村立図書館などで困難な調査・相談業務の強化や図書館ネットワークをさらに推進すべきである。その一つとして図書配送の協力車を利用し県立高校にも県立図書館の資料貸し出しを拡充できないか。
教育長 今年度から全市町村の図書館または公民館図書室まで配送ネットワークができたので、それを活用し、県立高校にも資料の配送を広げていきたい。

(ほかに、退職金の前払いや担保による持ち家住宅促進支援の検討なども質問)
F委員(自民) これか

G委員(共産) 日立電鉄線の存続について、岡山電気軌道株式会社からの申し出、市民出資による受け皿会社設立方針の発表など強化なども質問)
H委員(民清) 電子自治体を構築するためには

の新しい動きに県はどう応えていくのか。
企画部長 岡山電気軌道株式会社については、関係機関とも協議し、早期に結論を出していきたい。市民出資の新社設立については、運行面、経営面などの課題が多く、直ちに鉄道事業を引き受けられる状況にはならないと考えている。(ほかに、大型店対策なども質問)

土木部長 醗酵技術を活用した汚泥処理としては堆肥化に取り組んでおり、堆肥は街路樹や公園の草花、樹木の肥料などとして自然に還元している。汚泥の堆肥化は、地球環境に配慮した自然再生型の処理方法であり、今後とも継続して実施していきたい。

(ほかに、初期動捜査体制の強化なども質問)
I委員(自民) これか

た今後の地域づくりのあり方
・地域コミュニティの再生
・合併後の県庁のあり方
・平成一七年四月以降の市町村合併推進のあり方
・同じ九月二日に開催された第七回委員会では、那珂市、筑西市及び東茨城郡城里町の設置など六件の合併関係議案の審査を行いました。審査の過程において

市町村合併に伴う新生活圏づくり調査特別委員会

市町村合併に関する議案の審査及び均衡のとれた新たな地域づくりへ向けた諸方策のあり方の調査検討を行うため、第一回定例会で設置された「市町村合併に伴う新生活圏づくり調査特別委員会」は、これまで八回の委員会を開催しました。

第三回定例会中の九月二日に開催された第六回委員会では、これまでの調査

住民の目線で新たな地域づくりを審議

分割担のあり方
①県と市町村の役割分担の見直し
②県と市町村の連携協働

・生活圏の今後を見据えた地域振興施策の選択と集中のあり方
・地域間格差是正に向け

は、住民に対する合併効果の分かりやすいPRなど活発な質疑応答が交わられました。

今後、具体的施策等について審議を進め、合併後の地域づくりに寄与できるような提言を盛り込んだ調査結果の報告を行う予定です。

今定例会で可決された主な議案

(議員提出)

市町村の合併に伴う茨城県議会議員の選挙区の特例に関する条例

この条例は、常陸大宮市に続き、今後合併新市町が相次いで誕生することから、市町村合併に伴う県議会議員の選挙区について、本年一〇月一六日から平成一八年の一般選挙で選挙される議員の任期が終わる日までは、合併特例法の規定に基づき、現行の選挙区を区割りして選挙を実施することを定めたものです。

(知事提出)
予算関係
平成一六年度茨城県一般会計補正予算
平成一六年度茨城県鹿嶋臨海工業地帯造成事業特別会計補正予算
平成一六年度茨城県港湾事業特別会計補正予算

茨城県立学校設置条例の一部を改正する条例ほか八件
その他
市町の廃置分合についてほか二件

条例の制定

平成一六年度茨城県流域下水道事業特別会計予算

那条の制定
那珂郡大宮町、同郡山方町、同郡美和村、同郡緒川村及び東茨城郡御前山村の合併並びに那珂郡大宮町が常陸大宮市になること等に伴う関係条例の整備に関する条例
茨城県育英奨学資金貸与条例

質疑者	
川口 三郎	(自民県政クラブ)
武藤 均	(自由民主党)
飯塚 秋男	(自由民主党)
小川 一成	(自由民主党)
鈴木 孝治	(公明党)
福地源一郎	(自由民主党)
大内久美子	(日本共産党)
今 一男	(民主清新クラブ)

住基カードの普及は欠かせない。これまで投入された莫大な税金が有効に利用されるよう、地方が一致団結して住基カードの普及促進を国に働きかけるべきと考えるが、所見を伺う。
総務部長 都道府県の担当部長をメンバーとする住基ネットの推進協議会などでいろいろ活用策を議論し、住基カードの普及促進について国にも働きかけていきたい。
(ほかに、ものづくりの継承なども質問)